

IV 貯蓄・負債

1 男女，年齢階級別貯蓄の状況

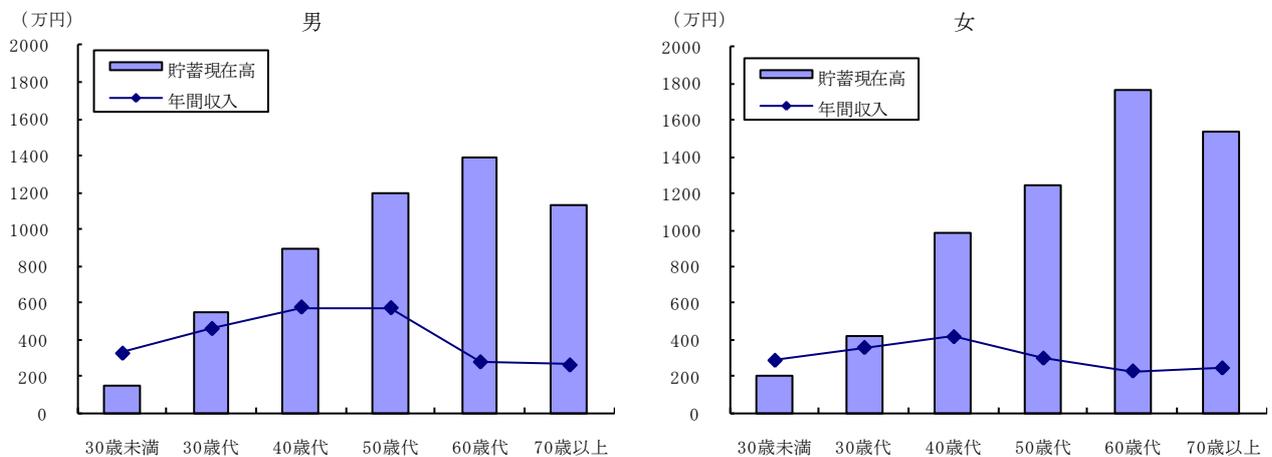
(1) 貯蓄現在高

単身世帯の貯蓄現在高について，男女，年齢階級別にみると，60歳代までは年齢階級が高くなるに従って多くなる傾向がみられ，男性は30歳未満が151万円と最も少なく，60歳代が1387万円と最も多くなっている。また，女性も30歳未満が198万円と最も少なく，60歳代が1763万円と最も多くなっている。

貯蓄年収比（年間収入に対する貯蓄現在高の比率）をみると，30歳未満では男性が46.2%，女性が68.8%となっており，それぞれ年間収入の約5割，約7割に相当する貯蓄を保有している。30歳代ではそれぞれ118.2%，116.9%となっており，男女共に貯蓄現在高が年間収入を上回っている。さらに，40歳代ではそれぞれ156.1%，236.6%，50歳代では209.9%，416.1%となっている。年間収入が大幅に減少する60歳代ではそれぞれ493.6%，766.1%，70歳以上では427.8%，624.7%となっており，60歳以上の女性は年間収入の6倍以上に相当する貯蓄を保有している。

なお，貯蓄年収比を男女で比較すると，30歳代を除く各年齢階級で女性が男性を上回っている。（図IV-1，表IV-1）

図IV-1 男女，年齢階級別貯蓄現在高及び年間収入（単身世帯）



表IV-1 男女，年齢階級別貯蓄現在高及び年間収入（単身世帯）

	30歳未満	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上
男						
貯蓄現在高 (万円)	151	542	896	1197	1387	1131
年間収入 (万円)	327	459	574	570	281	264
貯蓄年収比 (%)	46.2	118.2	156.1	209.9	493.6	427.8
女						
貯蓄現在高 (万円)	198	418	984	1248	1763	1540
年間収入 (万円)	288	358	416	300	230	247
貯蓄年収比 (%)	68.8	116.9	236.6	416.1	766.1	624.7

(2) 貯蓄現在高の内訳

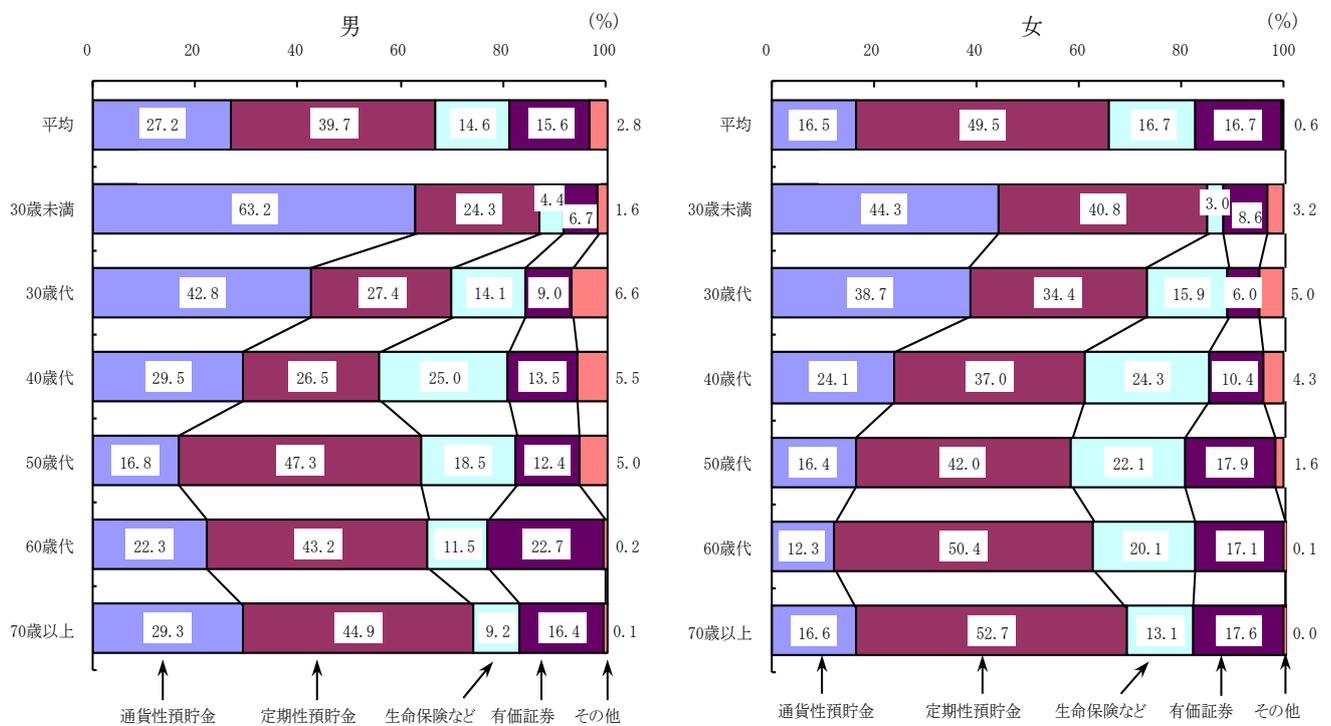
単身世帯について、男女、年齢階級別に貯蓄現在高の内訳をみると、男性は50歳以上で定期性預貯金が最も多くなっている。50歳以上の各年齢階級において、定期性預貯金に次ぐ貯蓄の種類をみると、50歳代は生命保険など、60歳代は有価証券、70歳以上は通貨性預貯金がそれぞれ多くなっている。

一方、女性は、30歳未満及び30歳代を除く各年齢階級で定期性預貯金が最も多くなっている。定期性預貯金の貯蓄現在高に占める割合は、60歳代で50.4%、70歳以上で52.7%となっており、60歳代及び70歳以上では貯蓄現在高の半分以上を占めている。40歳以上の各年齢階級において、定期性預貯金に次ぐ貯蓄の種類をみると、70歳以上は有価証券が多いが、それ以外の各年齢階級では生命保険などが多くなっている。

なお、30歳未満及び30歳代の男女並びに40歳代の男性では、通貨性預貯金の割合が定期性預貯金の割合を上回っている。

貯蓄の種類別割合を男女で比較すると、通貨性預貯金はすべての年齢階級において男性が女性を上回っており、定期性預貯金は50歳代を除く各年齢階級において女性が男性を上回っている。(図IV-2)

図IV-2 男女、年齢階級別貯蓄現在高の構成比(単身世帯)

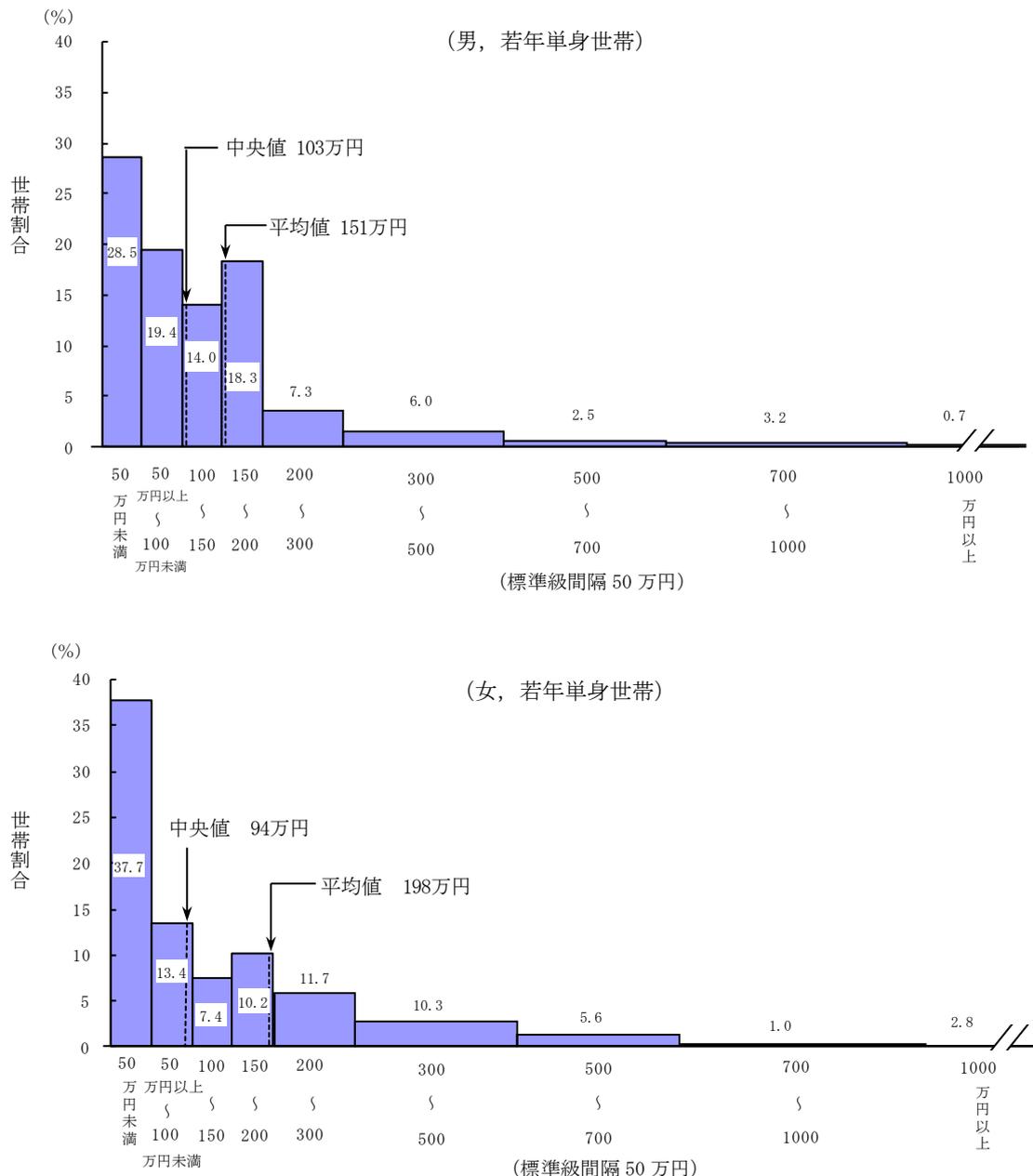


(3) 貯蓄現在高の世帯分布

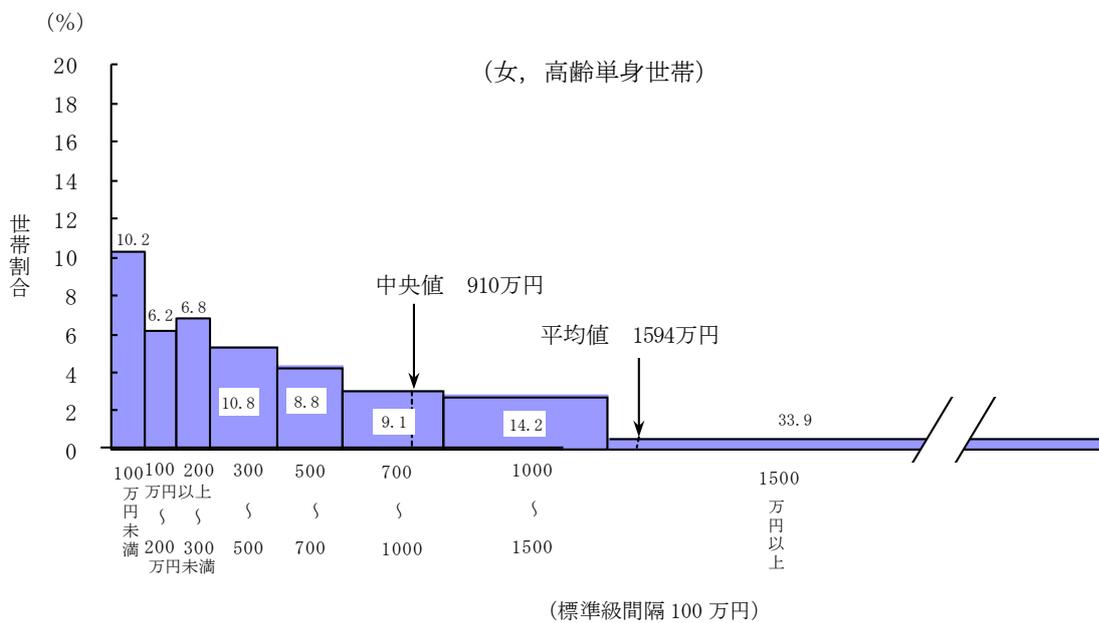
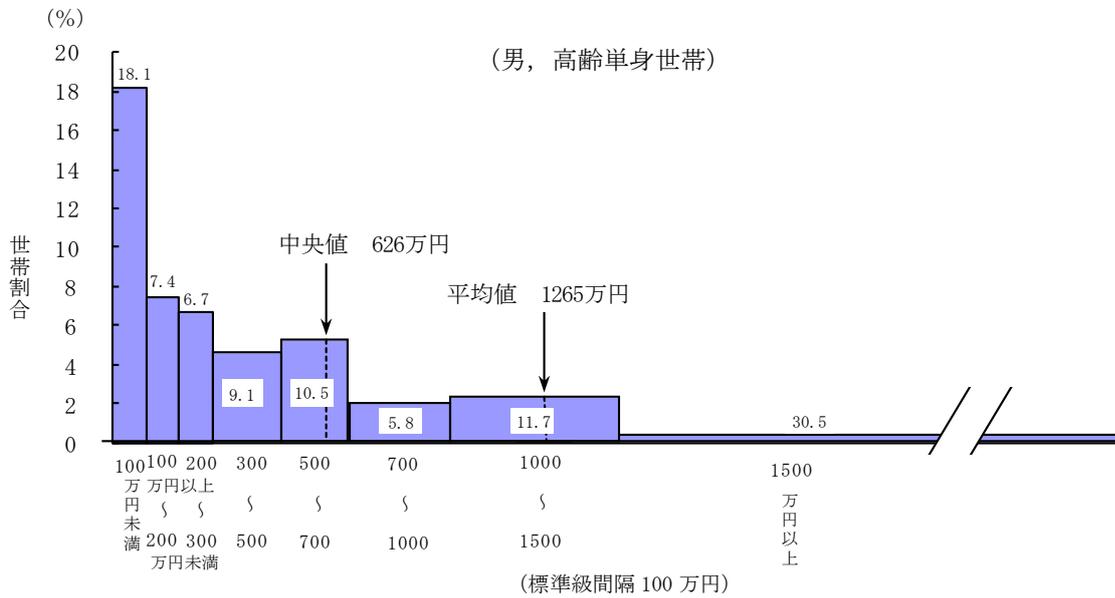
男女別に若年単身世帯（30歳未満の単身世帯）及び高齢単身世帯の貯蓄現在高階級別世帯分布をみると、いずれも貯蓄現在高の少ない方に偏った分布となっており、平均値（若年単身世帯では男性が151万円、女性が198万円、高齢単身世帯では男性が1265万円、女性が1594万円）を下回る世帯が若年単身世帯及び高齢単身世帯共に男性は約6割、女性は約7割を占めている。また、若年単身世帯では貯蓄現在高が50万円を下回る世帯が男性は28.5%と約4分の1を占め、女性は37.7%と約3分の1を占めている。

なお、世帯全体を二分する中央値は、若年単身世帯では男性が103万円、女性が94万円、高齢単身世帯では男性626万円、女性910万円となっている。（図IV-3）

図IV-3 男女、貯蓄現在高階級別世帯分布（単身世帯）



図IV-3 男女、貯蓄現在高階級別世帯分布（単身世帯）（続き）



2 男女、年齢階級別負債の状況

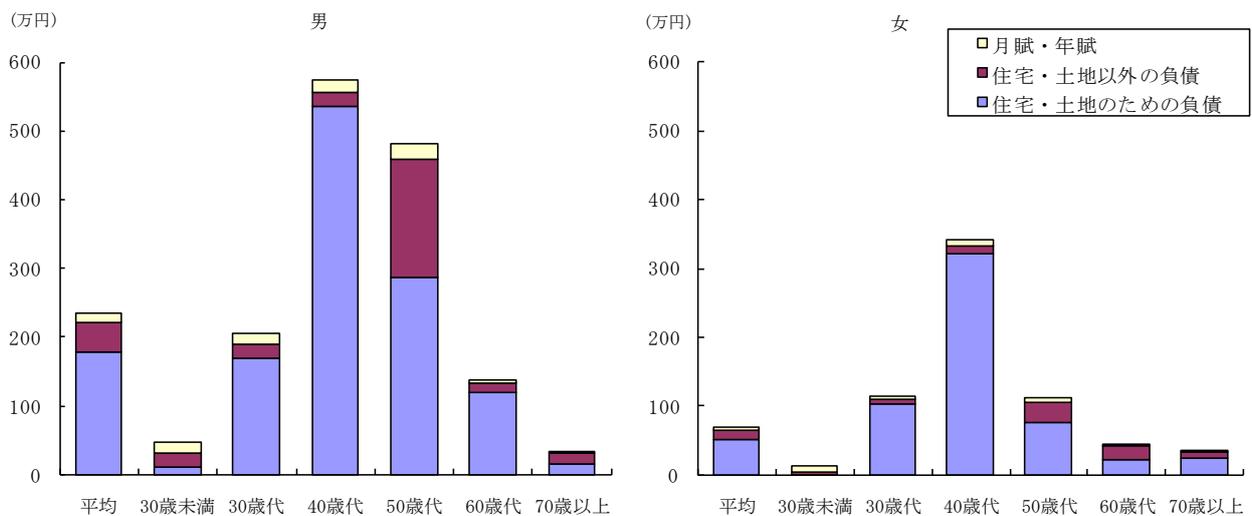
単身世帯の負債現在高について、男女、年齢階級別にみると、男性は40歳代が574万円と最も多く、次いで50歳代（482万円）、30歳代（205万円）などの順となっている。また、女性も40歳代が343万円と最も多く、次いで30歳代（115万円）、50歳代（114万円）などの順となっている。

また、40歳代の負債の内訳をみると、住宅・土地のための負債は男性535万円、女性322万円で、負債現在高に対する割合は男性が93.3%、女性が93.7%となっており、男女共に負債の9割以上が住宅・土地のための負債となっている。（図IV-4）

なお、40歳代の住宅・土地のための負債を保有している世帯の割合は、男性32.4%、女性19.2%となっており、男女共に他の年齢階級を上回っている。

住宅・土地のための負債を保有している世帯に限定して住宅・土地のための負債現在高をみると、男性では30歳代が1892万円と最も多く、女性では40歳代が1674万円と最も多くなっている。男女で住宅・土地のための負債現在高を比較すると、40歳代及び70歳以上を除く各年齢階級で男性が女性を上回っている。（表IV-2）

図IV-4 男女、年齢階級別負債現在高（単身世帯）



（注）負債を保有していない世帯を含む平均

表IV-2 男女、年齢階級別住宅・土地のための負債
（住宅・土地のための負債保有世帯・単身世帯）

	平均	30歳未満	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上
男	1367	1313	1892	1652	953	1477	631
女	992	—	1365	1674	758	721	642

（万円）